

第7回 よこはまウォーキングポイント共同事業者選定等委員会 会議録	
日 時	平成28年11月9日(水) 9時30分～11時00分
開 催 場 所	横浜市庁舎 3階共用会議室
出 席 者	【委員 4名】大久保委員長、荒木田委員、上島委員、田中委員
欠 席 者	荒尾委員
開 催 形 態	公開(傍聴者3名)
議 題	1 平成28年度事業進捗状況について 2 事業検証について 3 その他
議事要旨	
事 務 局	事務局よりあいさつ(健康福祉局 大貫健康安全部長) 定足数の確認 常任委員5名のうち、4名が出席のため定足数を満たし委員会が成立していることを確認
議題1 平成28年度事業実施報告について	
事 務 局	【報告】(資料配布なし) ○事業スキームの変更 参加対象年齢の拡充(40歳以上から18歳以上に変更) 申込方法の拡大(WEB申込、スポーツセンターの窓口申込の開始) 事業者申込みの通年受付、歩数計の一括発送開始 ○厚生労働省「健康寿命を延ばそう!アワード」や国際会議など国内外からの注目 ○健康階段の設置 ○参加登録状況 参加実績 215,000人超(10月時点。目標値は28年度末で25万人) ○インセンティブ 定期抽選、寄付の実施状況
大久保委員長	ありがとうございました。今年度の事業の進捗状況をご説明いただきまして、順調に進んでいるようですね。国内外から注目されているということで大変喜ばしいことです。進捗状況についてご質問などはございますか。
荒木田委員	事業所への展開を進めてくださったとのことで、とてもよいことだと思っております。事業所の展開をする際に、労働基準監督署などは事業のPRに協力はされているのでしょうか。
事務局	事業の説明に伺っており、事業のPRにご協力をお願いしています。
荒木田委員	労働基準監督署が開催する説明会の時などに、チラシの1枚でも配布してもらえ

事務局	とよいと思います。
事務局	はい、ありがとうございます。
大久保委員長	的確な指摘をありがとうございました。事務局で検討いただければと思います。他はよろしいでしょうか。先に進めさせていただきます。 それでは議題2の事業検証の概要について、事務局から説明をお願いいたします。
議題2 事業検証について	
事務局	【報告】 ○事業検証の概要について（参考資料1） 平成27年度からの基本的な考え 平成28年度事業検証の内容（27年度との比較） ○利用状況調査報告書（案）について（資料1） 1 事業の周知状況と参加希望、2 参加状況
大久保委員長	ありがとうございました。利用状況調査報告書について、まだ報告はございますが、分量が多いため、一度区切って議論をいたします。4ページの4行目で2.9%増加しているということですが、2.9ポイントでしょうか。下の部分にも同様の表現があります。
事務局	はい、修正いたします。
大久保委員長	27年度までの参加目標達成率が53.9%ですが、現在の参加者は21万人程度ですね。29年度末までに30万人は達成可能でしょうか。
事務局	達成に向けて頑張ります。
大久保委員長	現時点で目標値の7割くらいの方が参加していますね。
事務局	はい。参加しようと思った方はほぼ入っていただいておりますので、今後は参加に踏み止まっている方に入っていただくかを工夫したいと思います。
大久保委員長	eアンケートでは入ってみたいという方が結構いらっしゃるの、この方達に参加していただければ可能性はありますね。
荒木田委員	報告書の3ページの参加状況の各区を見て、今後どのように伸ばしていくかが課題かと思いました。例えば、参加者数の目標値達成率だと港南区はトップで、鶴見区

事務局	<p>は目標値の 1/3 だと思います。その理由と、参加率の高い区は、どのような工夫をしているのか、工夫例などがコラムのような形で掲載できるといいと思いました。概要版に入れるというわけではないが、そのようなものがあるとヒントになると思います。</p>
上島委員	<p>港南区や栄区のように高齢化率が高い区は運動に熱心な方がいらっしゃるということもあり、区別で見ると参加者が多いという状況になっております。鶴見区は今頑張っているところです。いただいたご意見を参考に今後のことを考えたいと思います。</p> <p>6月には18区役所を訪問しまして、意見交換をさせていただきました。イベント時の受付などの取組や、のぼり旗の作成など各区の独自の取組を説明し、自分の区でできるものを是非取り組んでいただきたいと情報共有をしております。</p>
大久保委員長	<p>18区のヘルスマイト会長会で話を聞くと、港南区はウォーキングポイントが始まる前から区全体で色々な委員会があり、ウォーキングも盛んでした。そのため事業に協力しようという流れになっているのだと思います。高齢化率が高いと事業に参加する率も高いということで、このような結果になっていると思います。</p>
田中委員	<p>国内外に注目されていますので、積み上げた成功事例や取組事例を発信されると他の自治体が展開する際の参考になると思います。「健康寿命を延ばそう！アワード」のプレゼンテーションでもそういったことを伝えられるといいのかな、と思います。</p>
大久保委員長	<p>栄区は18区の中では高齢化率は高いですが、以前から町ぐるみの事業に関して町内会や自治会、任意の団体など色々な面で関心が非常に高い区です。対象年齢が18歳以上に拡大されましたので、特に30代～40代の方達をどうやって取り込むかが課題だと思います。前回もお話しさせていただきましたが、乳幼児健診のお母さんの体力格差がとても大きいので健診なども大いに活用して、区役所の方にウォーキングポイントに力をいれていただきたいです。我々も協力していくと伝えていきます。18歳～50歳位の方に入っていただければと思います。今、栄区は参加者数の目標達成率が1位なので、維持しようとして皆で話しています。後は若い人たちがどのくらい入ってくれるか次第です。</p>
大久保委員長	<p>まだご意見などあるかと思いますが、また戻れるということで事務局の報告の続きをお願いいたします。</p>

事務局	<p>【報告続き】</p> <p>○利用状況調査報告書（案）について（資料1）</p> <p>3 参加者の運動量</p>
大久保委員長	<p>ありがとうございました。ただいまの説明について、ご意見、ご質問はございますか。非常におもしろいですね。40～64歳の女性の平均歩数が非常に少ないという結果がでましたけれども、男女間で歩数計をつけている平均時間の差はありますか。</p>
事務局	<p>男女間のつけている時間の差はほとんどなく、それによって差が出ているとは結びつきませんでした。</p>
大久保委員長	<p>歩数計をつけている時間による差ではないということですね。</p>
田中委員	<p>これが原因ではないか、というお気づきの点はありますか。</p>
事務局	<p>やはり買い物に行くのに荷物が重いと自転車を利用するなど、自分自身の歩数を見ても1日の目標歩数に届かないです。</p>
田中委員	<p>自分自身の歩数ですか。</p>
事務局	<p>はい。毎日8,500歩には届きません。そう考えると、40～64歳女性で50%以上の方が毎日8,500歩を歩くという目標値は、非常に高いと思いますが、頑張らなければいけないと思います。</p>
大久保委員長	<p>事業所に勤めている女性は通勤などで必ず歩くと思うのですが、それでも歩数が少ないのですね。どういう理由なのか、今後検証する価値があると思います。学術的にもおもしろいデータだと思います。</p>
上島委員	<p>私もそれはとても感じます。食育を通して色々な活動をしていますと、働く世代の方々は、塩分などの色々な調査をしても、関心のある方が一番少ない層になります。塩分も一番よく摂り、野菜の摂取量も少なく、健康に対して意識も低いです。まだ若いから大丈夫という意識の方が強いのかな、と思っております。65歳以上になると、今から頑張って健康でいようという意識がありますが、そういった意識がまだ芽生えていない世代だと思います。そのような世代にどのように働きかけるのか、事業所などを通してなのかと思っております。</p>
田中委員	<p>「健康寿命を延ばそう！アワード」のプレゼンテーションで第1位を獲得するには</p>

上島委員	<p>そういった点をクリアにし、要因として考えられる点を述べていかないと。こういったものに取り組んでいるという風にしないと1位は厳しいかもしれないですね。</p> <p>ヘルスマイトの全国大会で事例報告した時に、どの自治体も歩数に関して「歩け歩け運動」など事業を展開していますが、横浜市のように歩いたポイントで景品が当たったり、WFPに寄付したりしているところはほとんどないと思いました。若い世代に向けては、その点を強調し、自分を通して社会貢献ができることも伝えたら目覚めてくれるかと思います。</p>
大久保委員長	40～64歳の女性は、健康日本21の調査ではそれほど低い数値ではないですね。
事務局	はい。
大久保委員長	調査のために1日だけ頑張っただけ歩く可能性があるのではないかとということです。
事務局	はい、推測ですがそういったこともあるのではないかと考えています。
大久保委員長	逆に言うと、健康日本21の目標値に近い数字で安心してはいけないという強いメッセージがありますね。非常に興味深いと思います。この事業検証のデータは、自分で記載するデータではなく、リーダーで転送された歩数データですか。
事務局	はい。
大久保委員長	より正確なデータなのですね。大変面白い結果がでましたけれども、みなさん、表現など助言はございますか。どの区でも女性の歩数が少ないなど、同じような結果でしょうか。
事務局	区毎の平均の歩数を載せていますが、さほど差はみられませんでした。
大久保委員長	5ページの1行目に「昨年度より200歩少ない」と書いてあり、この表現では肯定的にとらえているように見えますけれど、これでよいのでしょうか。歩き過ぎへの注意喚起がうまくいっているということ、初年度に無理して頑張っただけ歩いていた分が減ったのではないかとということです。昨年度より200歩少ないけれども、実際歩いている歩数としてはこの数値が正しいという理解でよろしいのでしょうか。
事務局	はい、そのように考えています。

田中委員	6ページ表9で女性40～64歳の横浜市の平均が7,180歩です。それに対して65歳以上が6,337歩となっているのですが、64歳までの方が歩いているのではないかと思います。これと先ほどのパーセントとはどのような関係なのでしょう。
事務局	7ページ表11に年代別の目標値があるのですが、年代別で歩数と割合の目標値が異なっています。40～64歳の女性は8,500歩以上歩く方が50%以上いるという高い目標になっておりまして、65歳以上の女性は、6,000歩以上歩く方が40%以上いるという目標になっており、より目標値に到達する人の数が多いという結果になり違いがでています。
田中委員	なるほど。ものさしが違うんですね。健康日本21の目標値の達成率よりも、6ページの参加者の平均歩数の方が大事なのではないのでしょうか。立派に歩いています。結果が低いような感じになってしまうのは残念です。
事務局	説明に気を付けるようにいたします。
大久保委員長	では、時間の関係もごさいますので次の議題に移りましょう。
事務局	【報告続き】 ○利用状況調査報告書（案）について（資料1） 4 運動量の変化と運動週間の改善・定着への効果 5 事業参加による地域とのつながりの変化
大久保委員長	事業に参加したことで、参加前と後では歩数が増えているということですが、事業に参加した1年目と2年目の違いではないですか。
事務局	事業に参加したことでどう変わったかということを知っています。
大久保委員長	この1,000歩が初年度に頑張って歩いて増えていて、2年目を以降減る分ということでしょうか。9ページ（2）参加後のウォーキング状況とその継続期間で、目標設定に達している人が62.7%ですね。かなり歩いていると思います。先ほど女性の歩数が少ないとありましたが、男女別では出していないのでしょうか。
事務局	アンケートの結果は初めの方につけさせていただいていますが、歩数の男女差はなく、むしろ女性の方が多めに回答していらっしゃると思います。そのため、実際の歩数データと差が出ていると考えています。
大久保委員長	この調査項目では男女差はないけれど、実際にリーダーで送信されるデータは女性

事務局	が少ないということですね。
事務局	参加前の歩数データがないため正確にはわかりませんが、大体このくらい歩いているという感覚があるのかと思います。
荒木田委員	11～12 ページの分析はソーシャルキャピタルの向上につながっているということですので、こういう効果も出ているということを強調して伝えたいです。
大久保委員長	歩いて自身の健康を高めることも大切ですが、それ以外の効果として社会のつながり、家に閉じこもっている人が地域に出て、精神的にもよくなっているということですね。
荒木田委員	歩いて健康増進とか、歩いている人に声をかけてつながりづくりなど、次のキャッチコピーになればよいです。今後活かせる分析だと思います。
大久保委員長	ぜひアワードのプレゼンテーションでも、アピールしてください。
事務局	今回のアワードでは、今年度の事業検証について委員の皆様の確認も完全には終わりませんので、昨年度の結果のみでプレゼンテーションを行います。
大久保委員長	そうなのですか。せっかくなのでアピールしたいところです。興味深い結果が出て、意義のある分析結果だと思います。続けて、最後のまとめをお願いします。
事務局	【報告続き】 ○利用状況調査報告書（案）について（資料1） 6 まとめ
大久保委員長	ありがとうございました。（2）課題9行目の1日の平均歩数の構成割合の部分で、65歳未満、特に女性の平均歩数が少ないと記載があり、これは40～64歳の女性の平均歩数が健康よこはま21の目標値に比べて少ないという表現だと思うのですが、実際の平均歩数は65歳以上の方が少ないのですよね。
事務局	はい。
大久保委員長	その辺りを誤解の少ないように表現するようにして下さい。
事務局	はい、そのようにいたします。

荒木田委員	同じく今の部分で、歩数増加につながる施策の実施が必要という記載ですが、要因の検討が先に入っていた方がよいのではないのでしょうか。
大久保委員長	<p>要因の分析がはっきりしないと施策が打てないということですね。また、インセンティブの事が書いてありますが、報告書なのでいいとは思いますが、これまでの部分にインセンティブについての記載がないので、ここで記載するのは違和感があります。論文などでは結果以外のことは書かないものなのですよね。</p> <p>次回の分析では、18歳以上の方のデータが入ってくるため、分析としては難しくなると思います。28年度の成果を、アワードのプレゼンテーションで発表できないのでしょうか。初年度のデータだけでは、初歩的なことになってしまい、アピールが難しいと思います。</p>
事務局	プレゼンテーションについては、いただいたご意見を、できるだけ取り入れるようにいたします。
大久保委員長	全体を通して何かございますか。
田中委員	<p>栄区はWHOのセーフコミュニティに参加しています。高齢者分科会で、転倒防止やヒートショック防止が重要課題になっております。分析するのは難しいと思いますが、筋力低下が要因になることについて、ウォーキングを定期的に行う人が増えることで転倒が減るということにも結びつけたいです。歩くことによって転びにくくなっていくという関係が分析できればと思います。骨密度などのファクターの中で、ウォーキングポイントも寄与しているという因果関係がわかれば、事業への理解もしやすく参加者が増えると思います。</p>
大久保委員長	将来的には健康診断の結果に結びつけたりできればいいですね。
事務局	<p>予算の関係がありますので、30年度以降の事業は検討中ですが、事業の分析を行い、効果をどのように表現していくかが課題です。参加者数が多いため、健康寿命日本一を目指すリーディング事業としてきちんと分析したいと考えています。</p>
荒木田委員	60～65歳以上の方向けの話になるかもしれませんが、健診結果や国民健康保険や介護保険のデータと結びつけるのは難しいと思いますが、ロコモチェックの7項目をアンケートに入れることは可能でしょうか。
田中委員	片足立ちのロコモチェックをみても、以前より筋力が少なくなった方が増えているようで、心配しています。若い方でも立てない方が結構います。ロコモなどは単純

荒木田委員	なチェックでいいかもしれません。
大久保委員長	参考資料1の「事業検証の考え方」について、分析の枠組みとしてわかりやすいのですが、ソーシャルキャピタルの枠組みが入っていないように思いました。「②市民の行動」に地域のつながりや関係性の向上などをイメージとして入れてもよいかと思いました。
大久保委員長	各委員からの意見が出ましたが、それを踏まえて修正した報告書を各委員にお送りさせていただきますので、よろしく願いいたします。それでは、事務局より事業検証の報告についてご説明をお願いいたします。
事務局	【報告】 ○事業検証の公表について（資料4）
大久保委員長	今、説明がありました点について、ご質問等がございますか。 ではお気づきになられた点がありましたら、後日事務局に連絡するというご 願いします。 それでは議題の（4）次年度についてお願いします。
事務局	【報告】 ○次年度について（資料配布なし） ・アンケート調査と歩数データ分析を紐づけて検証予定
大久保委員長	次年度の分析について、アンケート調査と歩数データを紐づける方法はどうやっ て行うのでしょうか。
事務局	アンケート用紙を送る際に番号を振っておき、紐づけます。
大久保委員長	今回と同様の4,000人のアンケートに通し番号を振っておいて、返ってきたアンケ ートは誰が書いたものか分かるようにしておくということですね。逆に誰から返っ てきてないか、それによって歩数が少ない人からは返って来ないということなども わかるのですね。これによって40～64歳の女性の歩数が少ない原因が見つかれば よいと思います。現段階でこのようなことがわかるのではないかと見通しはあ りますか。
事務局	実際にやってみないとわからないため、よく検討して進めたいと思います。
大久保委員長	次回は18歳から調査対象になるため、40歳以上の方が対象から減りますね。若い 世代にどういったことを聞くのか検討が必要です。いずれしてもより高度な分析に なるかと思えます。また調査の内容については事前にお話しただけということ ですね。

事務局	はい。
大久保委員長	それでは、議題3 その他の説明を事務局からお願いします。
議題3 その他	
事務局	次回の選定等委員会の開催についてですが、年度明けの5月頃開催をしたいと考えております。28年度1年間分のご報告をさせていただく予定です。日程につきましては、また後日皆様にお伺いいたしますので、よろしく願いいたします。
大久保委員長	今回は5月頃を予定しているということで引き続きよろしく願いいたします。最後になりましたけれども、全体を通じて何かございますか。本日いらっしゃらない荒尾委員からの修正は反映されていますか。
事務局	はい、反映しております。
大久保委員長	それではこれを持ちまして、第7回よこはまウォーキングポイント共同事業者選定等委員会を終了させていただきます。みなさん長時間ありがとうございました。 <p style="text-align: right;">(以上)</p>